

## 2012年度第2回執行理事会議事録

期 日：2012年7月14日（土）13:00～17:30

場 所：地質学会事務局

出席者：石渡会長 齋藤常務理事 伊藤 坂口 高木 内藤 平田 星 松田 山路 山本（事務局） 橋辺

欠席者（委任状提出あり）：ウォリス副会長（石渡） 渡部副会長（石渡） 井龍（石渡） 中澤 西 保柳 山口

\*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者11名，委任状7名，合計18名の出席。

### I 審議事項

1. 2012年度第一回執行理事会の議事録を確認し，了承された。

2. 謝金細則・旅費細則改正案

- ・従来の日本地質学会受託研究謝金細則を受託研究以外にも対象とできるよう改正が提案され，了承された。
- ・従来の日本地質学会受託研究国内旅費細則を受託研究以外にも対象とできるよう改正案が提案され，旅費は実費支給することを条文に明記するよう修正し，了承された。

3. 選挙規則・細則の改正，特に地方支部区の理事選挙について現行では，地方支部区の理事は，地方支部区代議員選挙の最高得票者を地方支部区選出理事として，代議員選挙と理事選挙を兼ねて実施しているが，地方支部区理事選出には，本人の意志が反映されないなどの問題点が指摘され，前期理事会からの検討事項となっている。理事は代議員による選挙で選出するという定款の趣旨に適合化させ，かつ地方支部区理事選出に本人の意志を反映される改正が，前期理事会からの検討事項となっている。また，先の選挙であったように，同数得票者が出た場合の定めなどについても，次回以降の理事会等を経て，来年度の総会に間に合うよう，継続して審議することとした。

4. 年会関連

1) 学術大会巡検の一部業務委託について学術大会巡検に関して，安全管理向上と主催者の負担軽減のために，実施運営の一部を仙台大会から旅行業者に委託する提案がなされ，了承された。

2) 仙台「津波堆積物ワークショップ（トレンチ調査を含む）」の実施可能性仙台大会の巡検にてトレンチ掘削等を実施し，現地観察会や関連ワークショップ開催，剥ぎ取り標本の採取などを行うというアイデアが示された。研究，教育，アウトリーチ，プレス公開など波及効果は大きい，手続きや費用など，実施する上で

の問題点を詳細に検討する必要がある。仙台関係者と相談することにした。

3) 学術大会を発展させるための改革案（ブループリント）作り学会のメイン事業である学術大会の発展と参加者増加を図るため，大会改革案を検討するワーキンググループ立ち上げの提案があり，その方向性は了承された。メンバーの集め方，スケジュールなど詳細はこれから検討する。

4) 「小さなESのつどい」の審査体制について学術大会の「小さなESのつどい」の審査員（これまで執行理事が担ってきた）の選出について検討し，大阪大会から地学教育委員会が理事に委嘱することとした。

### II 報告事項

(1) 運営財政部会：総務委員会（西・山本）

<共催・後援依頼，他団体の募集等>

1. 科学教育研究協議会より，第59回全国研究大会（8/3-5，鳥取県米子市）の後援依頼，例年通り承諾
  2. 蒲郡市生命の海科学館より地質学会の惑星地球フォトコンテスト入賞作品展開催（9/29-11/4）の共催依頼と第1回～3回までの入賞作品の貸出しの依頼あり，承諾
  3. 第38回リモートセンシングシンポジウム（11/2）の協賛依頼，例年通り承諾
  4. 第6回地殻応力国際シンポジウム，RS2013の後援依頼が同組織委員会（伊藤高敏委員長，東北大学）よりあり，承諾
  5. 女性科学者に明るい未来をの会より，「猿橋賞」の公募（推薦〆切11/30，学会〆切10/31）→HP，geo-flash，News掲載
  6. テクノオーシャンネットワークより，第2回「海のフロンティアを拓く岡村健二賞」公募通知あり（〆切8/31）→HP，geo-flash，News掲載
  7. 沖縄協会より，「第34回沖縄研究奨励賞」の公募（7/15-9/30，学会〆切8/31）→HP，geo-flash，News掲載
  8. 東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成の公募（10/10〆切，学会〆切8/31）→HP，geo-flash，News誌に掲載
  9. 朝日新聞文化財団より朝日賞の推薦依頼（〆切8/31，学会〆切8/10）→HP，geo-flash，News誌に掲載
- <その他>

1. 東北大学図書館より3.11震災関係の出版物収集について，当学会にも寄贈依頼があり，これまでの関連記事や地質学雑誌特集号を送った。今後，出版されるものについても同様とする。

2. 日本水環境学会より市民セミナー「大震災以後の水環境」開催（8/3）およびシンポジウム（9/10-12）のお

知らせ。

3. 挨拶状：土木学会（新会長；末岡徹），地盤工学会（新会長；小野武彦），石油技術協会（新会長；山本一雄），石油遡源開発㈱・日本海洋石油資源開発（石油資源会長；棚橋祐治，両社長；渡辺修）

<会員>

1. 入会者（79名）

正会員（16名）

桑原保人 後藤孝介 石川剛志 Ulziiburen Burenjargal 阿部寛信 鹿山雅裕 佐藤 誠 佐藤亮介 出口 満 名取和香子 笠谷貴史 越後拓也 星野美保子 玉置真知子 島津 崇 中谷咲子 正〔院割〕 会員（60名）

Ranaivoson Marinah A. 会田美佳 青木翔吾 荒井幸 井形瑛梨 池田知也 伊藤優花 井上佳春 梅田隼人 大川真弘 大辻奈穂 上ノ山晴貴 神原悠里 菊地一輝 木野雅史 小池祐貴 越智真人 越田溪子 近藤洋裕 坂田周平 佐古恵美 笹沼貴弘 渋谷小春 千徳明日香 高橋智佳史 田口知樹 竹村健人 谷岡裕大 多良賢二 内記 慧 中尾泰斗 中村佳博 仁井谷覚 西田昂広 西脇 伸 野崎謙治 野間恵理子 橋本俊太 橋本昌美 濱田早苗 浜橋真理 原川朋矢 久谷航平 広瀬鉄平 福村成哉 星野雄多 前田純伶 松村太郎次郎 三浦知督 三宅由洋 村上 周 木林和美 百瀬あずさ 森なつみ 森部陽介 吉田尊智 和田純一

正〔学部割〕 会員（3名）

倉富 隆 澤畑優理恵 潮崎翔一

2. 退会者（6名）正会員（6名）：上岡周平，右近さよ，南須原美恵，松田勇人，長友晃夫，沼田直樹  
3. 逝去者なし  
4. 6月末日会員数賛助：26，名誉：73，正会員：3907，正会員：3776，正〔院割〕 会員：124正〔学部割〕 会員：7，合計4006（昨年比-131）

<会計>

- ・第13回地震火山子どもサマースクール（糸魚川）に共催 分担金20万円を支出
- ・地学オリンピック日本委員会より年間協賛金の要請あり（1口5万円6口分），例年30万円支出。地質学会としても積極的にコミットする。
- ・大阪大会講演要旨見積り：300p，800部，予算65万円内外の見込み（昨年並み）。印刷部数は，事務局が最終的な参加者等をみて判断する。

(2) 広報部会：広報委員会（内藤・松田）

- ・ジオルジュの宣伝のため，教員向けの科学教育研究協議会の大会で配布（500部）する。
- ・大阪大会プレスリリース準備中。geo-Flashにて自薦他薦の募集をする。

(3) 学術研究部会：行事委員会（星）

- ・JpGUの次期プログラム委員として本学会より大坪会員

（正），星理事（副）を選出。

- ・大阪大会には全体で568件の発表応募。新設のアウトリーチセッションには11件の申し込み。プログラム編成と要旨校閲の作業中。堺観光コンベンション協会からの補助をうけるため，堺市内での宿泊を呼びかける。
- ・仙台大会は東北大理学研究科とも共催。巡検コースを検討中。
- ・トピックセッションの招待講演に関して行事委員会より次の提案があった。招待講演者の講演時間を世話人の裁量で15分または30分に選択できるようにする。セッション応募時に招待理由を詳説してもらい，代表的論文等も示してもらい。1セッション2名までの招待を可能とし，会員・非会員の種別を問わない。招待講演は講演数上限にカウントされない（招待講演者が別に1件発表する場合，負担金は不要）。世話人が「自分を招待する」ことは認めない。1セッション当りの上限時間や2件目の負担金については今後検討する。
- ・大阪大会緊急展示についてニュース誌，大会ホームページ，geo-Flashで周知する。
- ・大阪大会にて地学教科書を展示する。ポスター会場にて中学理科および高校「地学基礎」の教科書とその解説を展示する。担当は地学教育委員会。
- ・津波堆積物ワークショップを堆積学会と共催で10/6-8日に三重，和歌山地域で実施する。巡検も合わせて実施する。

(4) 学術研究部会：国際交流委員会（井龍）

- ・日韓交流会議について。2007年の協定締結以来，交流事業を継続してきた。協定期間は5年間で，今年の10月で切れるので，継続を協議する

(5) 学術研究部会：その他

- ・専門部会として，地球環境変動部会の設立が準備されつつあり，9月の理事会に提案する。

(6) 編集出版部会：地質学雑誌編集委員会（山路）

1) 編集状況報告（7月11日現在）。

- ・2012年度投稿論文総数67編〔総説4（和文4），論説36（和文33・英文3），報告6（和文6），ノート5（和文5）〕口絵6（和文3英文3）・巡検案内書10
- ・査読中 40編受理済み33編（うち通常号15特集号18）
- ・118巻7月号：特集号「東北地方太平洋沖地震：統合的理解に向けて（その2）」，通常号原稿2編（約62頁・校正中）
- ・大阪大会巡検案内書入稿中。118巻8月号に補遺としてCD-ROMを配布予定
- ・副編集委員長の任期が5月までだったが，岩森氏は留任となり，山路に代わって熊本大学の秋元和實氏が副委員長に就いた。岩森氏と秋元氏が副委員長という体制で，6月から業務を行っている。

(7) 編集出版部会：アイランドアーク編集委員会（伊藤）

- ・編集状況報告
- ・2011年IF：1.012若干低下

・雑誌名の変更について、Editorial Advisory Boardを含めて議論中。変更する場合、早くて2014年から。

**(8) 企画出版委員会** (山口)

- 1) 超歴史年表の修正案が著者らから提出。企画出版委員会で検討中。
- 2) 文科省から「一家に一枚」ポスター募集への応募について地球史年表でリベンジを期し、再応募する。前回の落選の反省を活かし、重要なコンセプトを上手に審査員に伝えたい。
- 3) 津波堆積物に関するリーフレットについて伊藤理事を通じ、日本堆積学会の方々と共に、企画を進める方向となった。
- 4) その他、三浦半島リーフ等について企画出版委員会にて審議中。

**(9) 社会貢献部会** (高木・平田・中澤・保柳)

- ・2012年度「地質の調査研修」事業の参加者募集開始
- ・地質の日イベントとして野外散策企画を実施した。

**(10) ジオパーク支援委員会** (高木)

- ・世界ジオパーク隠岐の島申請し現在審査中、来年は阿蘇が世界ジオパークに申請目指す。

**(11) 地学オリンピック支援委員会** (久田・平田)

- ・第4回委員会議事録地学オリンピック日本委員会からの要請に応じ、支援委員会が作問委員の人選を進める。支援委員会が作問委員会の試験問題を評価し、問題の質の更なる向上を目指す。

**(12) 震災復興事業プラン検討WG** (高木・西・藤本・斎藤)

- ・geo-Flash, ニュース誌にて事業プランの募集中。

**(13) 連携事業委員会** (保柳)

**(14) 支部長連絡会議** (渡部)

- ・大阪大会にて連絡会議開催の予定。

**(15) 地質災害委員会** (斎藤)

- ・梅雨末期の雨に警戒しつつ調査実施の注視警戒必要性を

**(16) 地質技術者教育委員会** (山本)

- ・大阪大会夜間小集会にてJABEE, フィールドワーク等検討する

**(17) 各賞選考委員会**

- ・9月の理事会で選考委員会を開催し委員長を正式に決定し、今年の選考準備を進める。

**(その他)**

- ・年会の“就職支援プログラム”において、地質系学生・院生向けに専門業界の紹介や周知活動を進めるが、採用選考に関する経団連の倫理憲章(広報・選考活動の開始時期、内定日等の取り決め)を踏まえて実施する。
- ・地質図関連の日本工業規格JIS (A-0205) が発行された。時代表記、断層や境界線の表記、地質図の製図が標準化されたので、周知に努める。
- ・IGCブリスベンにて開催されるIUGSの会議に出席する日本代表の紹介があった。
- ・日本地質学会の英語名称(Geological Society of Japan)の略称について検討した経緯説明があった。

2012年8月20日

一般社団法人日本地質学会執行理事会

会長(代表理事) 石渡 明

署名人 執行理事 斎藤 眞